

応募書類

(商店街等における課題解決のための専門家派遣及びワークショップの実施)

募集要領の「個人情報の取扱いについて」にご同意の上、全ての項目をご記入ください。

応募日付 令和 5 年 ● 月 ●● 日

※まちづくり会社などの民間事業者の方は、今回のワークショップで課題解決・商業活性化を目指したい商店街等についての「基本情報」、当該商店街に対する「活動事例」・「課題・応募理由等」を記入してください。

※応募者基本情報の窓口担当者は、地域事務局の窓口となる方にしてください。

(1) 応募者の概要

応募者 基本情報	都道府県・市町村名	●●県●●市
	組織名 (〇〇商店街振興組合、 〇〇まちづくり会社等)	●●●●●商店街振興組合
	住所 (組織の所在地等)	〒□□□-□□□□ ●●県●●市□□□-□□-□
	窓口担当者の氏名等 (連絡の窓口)	役職：理事 氏名：山田 太郎 (フリガナ) ヤマダ タロウ
	窓口担当者の連絡先 (電話)	固定電話：□□□-□□□-□□□ 携帯電話・緊急時用：□□□-□□□□-□□□□
	窓口担当者の連絡先 (E-mail)	-----@---.---.jp

(2) 課題解決・商業活性化を目指す商店街等の基本情報

I. 商店街等基本情報	
商店街等の名称	●●●●●商店街振興組合
商店街等の所在地	●●県●●市□□□-□□-□
商店街等を構成する 店舗数	50店舗 (令和●年▲現在)

商店街等組織の加盟店舗数（組合員数等）	40店舗（令和●年▲現在）
商店街等の空き店舗数	10店舗（令和●年▲現在）
商店街等組織の設立年月日	●●●●年●月●●日

II. 商店街の組織概要等（該当する数字に「○」を記載ください）

A. 組織形態

1. 商店街振興組合：商店街振興組合法に基づき行政庁の認可を受けた組合
2. 事業協同組合等：中小企業共同組合等に基づき行政庁の認可を受けた組合等
3. その他の法人：株式会社、一般社団法人、公益社団法人、NPO法人等
4. 任意団体：法人格を持たない団体

B. 商店街のタイプ

1. 近隣型商店街
2. 地域型商店街
3. 広域型商店街
4. 超広域型商店街

※商店街のタイプの定義は以下の表のとおり。

①近隣型商店街	最寄品*中心の商店街で、地元住民が徒歩又は自転車などで移動して日用品の買物を行う商店街
②地域型商店街	最寄品及び買回り品*が混在する商店街で、近隣型商店街よりもやや広い範囲であることから、徒歩、自転車、バス等で来街する商店街
③広域型商店街	百貨店、量販店等を含む大型店があり、最寄品より買回り品が多い商店街
④超広域型商店街	百貨店、量販店等を含む大型店があり、有名専門店、高級専門店を中心に構成され、遠距離から来街する商店街

※ 最寄品：消費者が頻繁に手軽にほとんど比較しないで購入する物品。加工食品、家庭雑貨など。

※ 買回り品：消費者が2つ以上の店を回って比べて購入する商品。ファッション関連、家具、家電など。

C. 立地環境

1. 繁華街
2. 住宅街
3. 駅前
4. ロードサイド
5. オフィス街
6. その他（)

III. 商店街等が抱える課題（該当する数字に「○」を記載してください（※複数回答可））

(1) 外部環境における課題

1. 地域人口の減少
2. 地域の高齢化
3. 地域消費（商圈）の縮小
4. 観光客の減少
5. 大型店舗との競合
6. 地域の魅力・ニーズの変化

(2) 商店街等における課題

1. 次世代リーダー・後継者不足
2. 空き店舗の増加
3. 空き店舗の流動化
4. 施設等の老朽化
5. 店舗間のコミュニティの希薄化
6. 業種構成の偏り
7. 集客力のあるコンテンツ不足
8. 周知・広報不足／認知度の低下
9. 自治体との連携不足
10. デジタル活用の遅れ
11. その他（ ）

(3) 課題解決・目指したい姿等

地域の課題	<p>※「(2) 課題解決・商業活性化を目指す商店街等の基本情報」に記載いただいた情報を用いながら、本事業に応募する背景となる課題を具体的に記入してください。</p> <p>・商店街自体の状況を具体的に記載してください。</p> <p>・その際、商店街が立地する地域の状況や特性、商店街等の業種構成、空き店舗の状況、公共施設等店舗以外の施設の立地等、現状の商店街の店舗構成の特徴についても触れてください。</p> <p>・また、商店街や地域における課題が複数ある場合は、優先順位を整理して記載いただくようお願いします。</p> <p>(例) 地域の人口が減少し、大型店舗が郊外に出店したため、商店街の来街者が減少している。飲食店が不足し、物販に業態構成が偏っていることが理由の一つと考えられるが、そもそも商店街の来街者のニーズの把握ができていない。仮にニーズを把握できたとしても、テナントを誘致するために、活用可能な空き店舗の確保ができていないことも課題であるが、一番の課題は、商店街全体をとりまとめる次世代リーダーが不足していることである 等</p>
目指したい姿	<p>・商店街等が「何をやるか」ではなく、これまで商店街等が大切にしてきた価値観をもとに、「どうありたいのか」、「誰に対して、どのような価値を提供したいか」を検討し、目指したい姿を記載してください。</p> <p>(例) 子育て世代が安心して子育てできるよう、既存の商店街等の利用者である高齢者と、地域外の若い世代、子育て世代が交流し、共に支え合える空間を目指したい 等</p>

希望する 主な支援 内容	<p>※現状の課題を踏まえ、課題解決に向けて専門家からどのような支援を受けたいか、現在の想定で構いませんので、該当するものがあれば「○」を記載ください。</p> <p>1. 空き店舗対策の検討や事業化サポート 2. 集客拠点整備等、ハード整備事業の検討サポート 3. デジタル化、DX 関連の整備事業の検討サポート 4. 商店街組織やまちづくり組織のあり方や設立・再構築に向けた検討サポート 5. 空間利活用に関する検討や事業化サポート 6. 外部連携（域外の民間事業者等との連携・事業化等）に関する検討サポート 7. 計画・ビジョン等の策定に関する検討サポート 8. その他（ ）</p>
--------------------	--

(4) 現在の取組状況や過去に実施した活動事例、連携したことのあるプレイヤーの有無

現在の取組 状況	<p>※「(3) 課題解決・目指したい姿等」に関し、既に、現在取り組んでいる事業等がありましたら、記載ください。その際、地域関係者等との連携がありましたら、どのような体制で進めているか、併せて記載ください。</p>
過去の 活動事例	<p>【時期】 ※○年○月頃 ○年～○年 等</p> <p>【取組内容】 ※当該商店街等における過去の取組について簡潔に記入してください。</p> <p>【地域関係者等との連携状況】 ※上記の取組について、地域関係者等との連携があった場合、どのような役割分担で実施したか具体的に記入してください。</p>

※必要に応じて、行を追加してください。

(5) 実施体制

① ワークショップ開催の実施体制

ワークショップ開催に係る地域事務局の主要メンバー（2～3名程度）をご記入ください。

※地域事務局の役割・・・ワークショップ実施のために地域に設置いただく事務局です。ワークショップ事務局（全国商店街振興組合連合会）と協力しながら、ワークショップのテーマ設定やワークショップ参加者の募集、ワークショップの内容調整などを行っていただきます。

※地域内コーディネーターの選定：主要メンバーの中から、地域内の参加者を取りまとめ、専門家や事務局とワークショップの方向性等について調整するコーディネーター役を選定し、「ワークショップにおける予定役割」欄に「地域内コーディネーター」と記載してください。複数人でも構いません。

所属組織や団体名・役職	氏名	ワークショップにおける予定役割
●●●●● 商店街振興組合 理事	山田 太郎	地域内コーディネーター
●●●●● 商店街振興組合 理事	海田 二郎	ワークショップテーマ、内容検討
●●●●● 商店街振興組合 理事	空田 三郎	ワークショップ参加者の管理

② 参加予定者

商店街等の課題解決に必要と考えられるワークショップに参加する予定のメンバー（地域事務局構成メンバー以外）をご記入ください。

※地域事務局メンバーを含め 6～10 名程度としてください。参加予定者は地方公共団体などの関係機関や関係団体からの参加も積極的にご検討ください。

所属組織や団体名	参加予定人数	備考
●●市役所商業課	1名	次年度以降の商店街支援施策を設計するために参加。
●●信用金庫	1名	事業計画の助言等をするために参加。
●●自治会、●●NPO	3名	今後商店街活動に参画を希望しているため参加。

※必要に応じて、行を追加してください。

(6) 参考になっている事例

※商店街等の活性化に関する取組を検討する際、参考になっている他地域の事例がある場合は、地域名や商店街名、注目している取組について、簡潔に記入してください。

地域名・商店街名	■■県■■市 ■■■商店街振興組合
注目している取組	空き店舗活用の事例として、当該地域の立地環境に似ていることから注目している。空き店舗活用したあとの集客施設や新規店舗が継続していることから、どのような事業計画を考え、実践しているのかを知りたい。

(7) その他補足資料

※応募するにあたり、補足資料があれば、別途、メール添付にてお送りください。